

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取中央育英高等学校

重点項目	地域連携重点校	提出日	令和4年12月20日
------	---------	-----	------------

1 学校目標
1 志を持ち、それを叶える確かな学力が身につく (1) 進路目標の明確化 (2) 基礎学力の向上 2 自らを律し、何事も率先して自ら行う力が身につく (1) 基本的な生活習慣の確立 (2) 生徒会活動・部活動の充実 3 自他を思いやり、他と協力する力が身につく (1) 学校行事・学級活動の充実 (2) 安全意識・安全技術の向上 4 学校の魅力化 (1) 「地域探究の時間」の発展・充実
2 重点項目に係る目標
本校では地域を支える人材を育成することを重要課題と考え、高校生が地域の魅力や課題を探究する「地域探究の時間」に取り組んできた。平成26年8月には地元北栄町と『「地域探究」の時間推進に関する協約』を結び、その後「コナンの町づくりに関する意見交換会」「北栄町高校生議会」などに参加してきた。また、令和2年2月には琴浦町とも同様の協約を結び地域の活動の幅を広げている。生徒が地域の魅力や課題を探究し、地域に貢献する志を立てることを目指す。さらに、将来県外の大学等に進学した者の多くが帰郷し、地域リーダーとなることを目指す。
3 事業計画（事業名、事業概要）

(様式1)

【高等学校課事業】

1 キャリア教育充実事業キャリア塾「夢ゼミ」

(1) ねらい

講師の生き方やものの考え方はもちろん、地域を愛し地域を発展させたいという強い思いを通して地域に貢献するという志を抱かせる。また、生徒にとって将来役に立つ話というだけでなく、自分の考えが揺さぶられ、それまでの価値観や生き方が根底から覆されるような体験をさせる。

(2) 事業内容

ミニ講演会を開き、講師と生徒のディスカッションを実施

- ・鳥取大学大学院 助教 長曾我部まどか氏
- ・鳥取県漁協協同組合 泊所長 松原理裕氏
- ・カイロプラクティック SUN カイロプラクター 秋月享大氏
- ・NPO 法人東伯けんこう 管理者 中原大輔氏

2 キャリア教育充実事業キャリア塾「キャリア探究」

(1) ねらい

地域を支える様々な業種の企業等の取組や地域や社会との繋がりを理解し、「地域貢献」「社会貢献」という視点で自らの生き方を考える。

(2) 事業内容

地域を支える企業の講話（①企業の活動状況、業務内容、特色、地域・全国・世界とのつながり、②企業が求める人材、能力、③高校生に対するメッセージ）を聴講。

- 企業等：①大山乳業農協協同組合 ②株式会社 エナテクス
③鳥取県警察本部 ④流通株式会社
⑤東宝企業株式会社 ⑥株式会社井木組
⑦株式会社 チュウブ ⑧社会医療法人 敬仁会
⑨株式会社 エースパック 鳥取倉吉工場
⑩ホテルセントパレス倉吉

【独自事業】

1 「地域探究の時間」（地域の魅力や課題を研究）

(1) ねらい

生徒が地域の魅力や課題を探究し、地域に貢献する志を立てることをめざす。さらに、将来県外の大学等に進学した者の多くが帰郷し、地域リーダーとなる

(2) 事業内容

(1) 講師の招聘

- ①実務者や有識者等による2年次生への地域探究活動に係る指導助言。
5月、1月、3月実施予定。
- ②中部地区全域からの「地域の人財」や有識者等による1年次生への地域探究入門に係る指導助言。
- ③教職員へ地域探究の進め方研修

(様式1)

謝金 鳥取大学 長曾我部 助教

(2) 「地域探究ノート」用ファイルの活用

(3) 「地域の人財」に学ぶ

中部地区全域からの「地域の人財」(12名程度)がフィールドワークに同行し、地域の魅力や課題、将来展望などを探究する。

(4) 他校研究成果発表会への参加

他校の地域探究系の取組による成果発表会へ参加。

鳥取県立岩美高校、兵庫県立村岡高校、岡山県立真庭高校(1泊)

(5) 島根県立隠岐島前高校主催「まちづくり甲子園」への参加

(6) 「高校生国際シンポジウムへの参加(3泊4日)

(7) 先進校視察

目的は「地域探究の時間」発展・充実。岡山県立和気閑谷高校、岡山県立瀬戸高校

2 キャリア探究推進事業

(1) ねらい

ア 1年次生が、2年次生の「地域探究の時間」フィールドワークに同行し、看護・医療・福祉機関、商工会議所、青年会議所、役場等を訪問し、2時間の職場見学を行い、業務の内容、社会貢献、将来に必要な資質や能力等を学びとることにより、履修科目選択等の的確な選択ができる。

イ 本校卒業の大学学長又は世界選手権大会出場者、あるいは郷土出身者の中から適任だと思われる方の講演により、生徒一人ひとりが地域を愛し、地域に貢献する心を芽生えさせ、自身の「在り方、生き方」について真剣に考える機会とする。また、講師の生き方における思いを聴く中で、生徒が学校に対する帰属意識や愛校心を育てる。

(2) 事業内容

ア 職場見学及び説明の実施 8社(機関)(1グループ15名程度)

イ 「在り方生き方」講演会

期日 令和5年12月頃(創立記念日)

対象者 全生徒

講師 本校卒業の大学学長、世界選手権大会出場者、郷土出身者等

※枚数任意